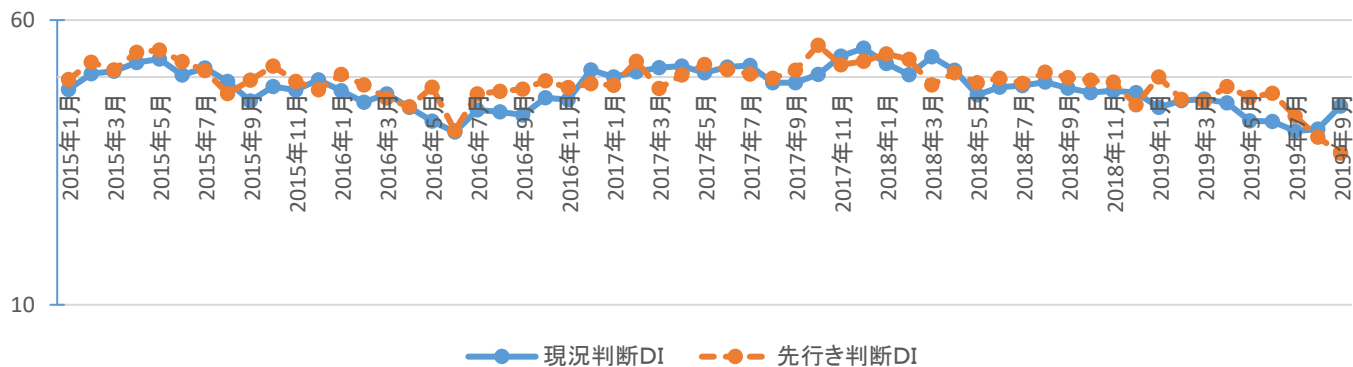


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2019年9月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計 動向 関連	やや良	《販売量の動き》月末間際になって、酒やたばこで消費税増税前の駆け込み需要があり、今月の売上は若干ではあるが前年同月を上回っている。【コンビニ（店長）】
		不変	《お客様の様子》10月の消費税引上げ前の発注や細かい現場のリフォーム工事等の受注が増えている。その反面、その後については、過去のような反動減はないものの、多少落ち着くように見受けられる。【住関連専門店（営業担当）】
		やや悪	《来客数の動き》客との話の中で余り良いニュースがないため、景気が悪くなっていくのではないかと見込まれる。【理美容室（経営者）】
	企業 動向 関連	やや良	《受注量や販売量の動き》北米・南米の自動車部品製造設備では、引き合い、受注共にまだ少なく例年の水準には達していないが、改造案件や納期が短い案件で少しずつ引き合いが増えてきた。【一般機械器具製造業（営業担当）】
		不変	《受注量や販売量の動き》東京オリンピック前後には建設関係の需要が落ちてくるとの観測があったが、当社の周りの通信インフラの構築等では、今のところ受注量も前年並みであり比較的好調である。【電気機械器具製造業（総務担当）】
		やや悪	《受注量や販売量の動き》残暑の影響で秋冬商材の立ち上がりが不調である。消費税引上げを控え、先行きに明るい兆しは見いだすづらい状況である。【食品製造業（経営企画担当）】
	雇用 関連	やや良	《求人数の動き》ある地区の自動車メーカー及び一次下請、二次下請企業の求人募集がストップしていたが、募集再開の動きがみられる。【アウトソーシング企業（エリア担当）】
		不変	《求職者数の動き》依然として、求人市場では企業の求人意欲が高く売手市場である。国内外の政治不安など、国内企業への業績影響が不透明ながらも、現在のところ人材市場は底堅い。【求人情報製作会社（営業）】
		やや悪	《採用者数の動き》今後の景気動向の不透明感も影響し、面接通過率が下がるなど、採用に慎重な姿勢を見せる動きが強まっている。【民間職業紹介機関（営業担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計 動向 関連	やや良	自動車においては、消費税引上げ後の税制の変更で安くなる物や、当社では秋に新型車の予定もあり、今より少し明るい材料があるので期待する。【乗用車販売店（営業担当）】
		不変	消費マインドの消費税増税後の圧迫意識は少ないように見受けられる。それよりも貿易問題の先行きによっては、やや悪くなる。【コンビニ（企画担当）】
		やや悪	消費税増税について、団体旅行の客には意識する動きはみられないが、個人旅行としては、生活費との兼ね合いで多少様子見の時期となる。【旅行代理店（営業担当）】
	企業 動向 関連	やや良	年末にかけて業界で設備投資が期待できるのではないかとということと、当社の新商品が出るため景気はやや良くなる。【電気機械器具製造業（経営者）】
		不変	北米での自動車部品製造設備の入替需要が高まっているが、まだ、新規設備発注をするという情報が入ってきていない。【一般機械器具製造業（営業担当）】
		やや悪	最低賃金の改定で、扶養範囲内で収めようとしているパート主婦は、勤務時間を減らすようになる。求人を出してもなかなか応募はなく、ぎりぎりの人数で仕事を回している小さい会社は、仕事を断らざるを得ない。景気は縮小する。【会計事務所（職員）】
	雇用 関連	やや良	求人募集再開の動きがみられ、下期の生産目標に向けた体制への上向きな動きがある。【アウトソーシング企業（エリア担当）】
		不変	求人求職の状況からは、業種により差はあるものの、全体的にはおおむね横ばいで推移しているものと見受けられる。【職業安定所（次長）】
やや悪		消費税引上げと同一労働同一賃金の施行により、派遣活用を各社が控える傾向がある。【人材派遣会社（社員）】	